

南陽市長 白 岩 孝 夫 殿

要 望 書

(コロナ禍による令和3年産米価下落に対する緊急要望)

令和3年10月29日

南陽市農業委員会

コロナ禍による令和3年産米価下落に対する緊急要望

令和3年産米をめぐる状況は、コロナ禍による予期せぬ需要減退により、令和2年産米の在庫が大きく積み上がり、米価が全国的に大幅に下落しております。先日公表されたJA山形おきたまの概算金も「はえぬき」で前年比マイナス2,200円、約2割の下落となるなど、生産費割れの極めて深刻な状況となっております。

今年は、市内農業者にとっては大変厳しい年であり、複合経営の多い市内農業者にとって、4月の果樹の凍霜害により品目によっては8割の被害が出る中、追い打ちをかけるようなこの度の米価下落は、農業者の生産意欲を減退させるものであり、今後の営農継続に暗い影を落としています。

特に、稲作専業農家は、例年と比べて大きく減収が見込まれる大変厳しい状況となり、さらに、中小規模農家は、今後、米づくりから撤退することにつながりかねない南陽市農業の危機的な状況と捉えております。

つきましては、地域農業の崩壊を防ぎ、農業者が来年度においても継続して安定的な農業経営ができるよう、市独自の経済的支援策を講じていただきますよう要望いたします。

特段のご配慮をお願い申し上げます。

令和3年10月29日

南陽市農業委員会

会長 高橋 善一